

2017東日本ジュニア体操競技選手権大会実施要項

主催 (一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟
 主管 北海道体操連盟 釧路体操連盟
 後援 (公財)日本体操協会 北海道 北海道教育委員会 (公財)北海道体育協会
 釧路市 釧路市教育委員会 釧路市体育協会

1. 期 日

平成29年 7月25日(火)セッティング 本会場練習 リーダー会議
 26日(水)審判会議 開始式 男子Bクラス競技(1日目)女子C/Bクラス
 27日(木)男子Bクラス競技(2日目)女子C/Bクラス 男子円馬決勝大会 C/Bクラス表彰式
 28日(金)男女Aクラス競技(1日目)
 29日(土)男女Aクラス競技(2日目) Aクラス表彰式 閉会式

※女子C/Bクラスの参加人数によって日程が変更することがあります。

2. 大会会場 〒085-0064 北海道釧路市広里18番地 大規模運動公園内
 総合体育館 湿原の風アリーナ釧路 TEL 0154-38-9800

3. 練習会場 なし

4. 参加資格

区 分	男 子	女 子
年会費	平成29年度の年会費を完納したクラブ	
登 録	当連盟に29年度の登録を済ませた者	
Aクラス	①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名	Aクラス ①小学校5年～中学校3年まで ②1団体最大6名
Bクラス	①小学校1年～小学校6年まで ②1団体最大6名	Bクラス ①小学校3年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
円 馬	①小学校6年生以下の男子(Bクラスと兼ねても 単独でも出場可) * Aクラス出場者は除く。	Cクラス ①小学校1年～小学校6年まで ②B・Cクラスで合計6名
その他	①A・B・Cクラスに参加する者は、前年度迄に全日本ジュニア体操競技選手権大会(選手権の部)に 出場した者を除く。 ②保護者または医師の承諾を得ること。	

5. 競技方法 ※すべてに於いて「FIG版競技規則」に準ずる

区 分	男 子	女 子
Aクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル1] ②花丸ルール適用	Aクラス ①ジュニア連盟女子Aクラス採点規則 (2017年版変更規則Iを適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)E得点賞対象
Bクラス	①男子ジュニア規定演技[レベル3] ②あん馬は「あん馬1」を採用 ③花丸ルール適用	Bクラス ①ジュニア連盟女子Bクラス採点規則 (2017年版変更規則I、一部変更して適用) 個人総合・種目別を決定する。 ②ハナマル判断基準適用(*)E得点賞対象
円馬1	①旋回20回(閉脚10回+開脚10回)の大きさ、 美しさの質で順位を決定する。	Cクラス ①ジュニア連盟女子Cクラス規定演技を 採用し、個人総合・種目別を決定する。 ジュニア連盟Cクラス採点規則を適用する。 ②ハナマル判断基準適用(*)
円馬2	①旋回の回数を競う。試技は最大2回 * 但し、5回以下の者に対してのみ。 ②2回試技を行った者は2回目を有効とする。	

(*)ハナマル判断基準/E得点賞
 ・ハナマル判断基準は別紙参照のこと。
 ・E得点賞:各E審判員が算出した上位3位までの得点を
 獲得した選手に与える。
 Bクラス跳馬は規定のため除く。

6. 器具基準 添付資料参照のこと。

7. 着地マットの使用について 添付資料参照のこと。

8. 2017全日本ジュニア体操競技選手権大会(決勝大会)の出場資格について

出場資格と競技内容			
区 分	男 子		女 子
Aクラス	①東西上位各30名 ②中体連採用規則に準ずる自由演技6種目 * 禁止技は高等学校適用規則に準ずる。 ③花丸ルール適用	Aクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
Bクラス	①東西上位各30名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用	Bクラス	①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
		Cクラス	①東西上位各15名 ②ルールについては東西大会と同じ。 ③花丸ルール適用
その他	※全日本ジュニア体操競技選手権大会の出場資格を取得した選手の該当クラブは、主催者が 指定した時刻までにエントリーを完了しなければならない。 辞退した場合は次点の選手が繰り上がる。		

9. 表彰について

- すべてのクラス/個人総合・種目別ともに1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
- (男子)円馬大会1/1～3位にメダルと賞状、4～6位に賞状が与えられる。
- (男子)円馬大会2/出場者のうち100回以上の選手に認定書が与えられる。
- (女子)E得点賞/E得点の上位1位～3位の得点を獲得した選手に賞状が与えられる。(A・Bクラス)

10. 参加料について

- A・B・Cクラス /1名につき ￥10,000
- 円馬大会 /1名につき ￥3,000 (Bクラスに出場する選手は無料)

11. 申込締切について

- 個人参加申込書に必要な事項を記入の上、参加料の振込明細書のコピー
を添えて5月25日(木)までに必着のこと。
・文書による申し込みとすること。(TELやFAXによる受付はしない。)
・参加料は、下記口座に所属名で振り込んでください。
- インターネット申込について
・男女それぞれの統括表については、(一社)全日本ジュニア体操クラブ連盟HP
(<http://www.jr-gym.or.jp/>)
からダウンロードし、必要事項を入力し下記のアドレス宛に送信すること。

12. 申込先

- ※必ず①②両方の手順を行うこと。
 〒085-8580 北海道釧路市城山1-15-55 北海道教育大学釧路校
 山本悟宛 携帯080-1212-4825 送信先アドレス E-mail kushiro.taiso@gmail.com
 振込先口座 北洋銀行 釧路中央支店 普通預金 4645647
 釧路体操連盟 常務理事 久保田 由記枝

13. 抽選関係

平成29年6月4日(日) 抽選結果は、後日インターネット上に掲載する。

14. その他

- 参加料はその理由の如何を問わず返金しない。
- 大会期間中に発生した傷害については、その責任をスポーツ傷害保険の範囲内とする。
- 参加申込書が不足した場合は各自コピーして補充すること。
- クラブ旗は各クラブとも1枚のみ掲揚できる。
- アリーナに入る監督、コーチは必ずクラブのユニフォームを着用すること。
- 参加選手のゼッケンはリーダー会議の際に本部から手渡される。
- 参加者数の増減により日程に多少の変更が生じる場合があるのでご了承ください。
- 女子のゆかの伴奏音楽はCD、USBもしくはMD(SPで録音したもの)をご用意ください。
※(使用する曲1曲のみ)

【個人情報保護について】

本大会にて収集する個人情報は、本法人の個人情報保護宣言を遵守します。
 収集した個人情報は、本大会の運営に必要な参加者の確認と参加クラブとの連絡、大会プログラム(選手名・
 クラブ名・学年・クラブ連絡先)及び本法人ホームページ(大会結果)に使用し、それ以外の目的には使用しません。

【大会期間中の肖像権について】

大会期間中に撮影された写真は、一般社団法人 全日本ジュニア体操クラブ連盟並びに開催地実行委員会が作成する
 報告書、広報紙、ホームページ等に掲載されることがあります。

ハナマル**判断基準**(2017年～)

◎東西大会ABCクラス、決勝大会Cクラス

※下記項目が各審判員がつけるハナマル決定の判断目安となります。

*但し、演技に対する加点はありません。

種 目	項 目
跳 馬	<ul style="list-style-type: none"> ◆助走を含む、スピードのある跳躍 ◆正確な踏み切り姿勢 ◆高さのある跳躍 ◆高い姿勢の安定した着地
段 違 い	<ul style="list-style-type: none"> ◆美しい体線での演技 ◆姿勢欠点のない振り上げ倒立 ◆全体を通して振幅の大きな演技 ◆終末技の着地姿勢が高く安定している
平 均 台	<ul style="list-style-type: none"> ◆演技に相応した質の高い柔軟性 ◆全体を通して、リズムやテンポの良い演技 ◆ふらつきのない安定した演技 ◆終末技の着地姿勢が高く安定している
ゆ か	<ul style="list-style-type: none"> ◆アクロバット系シリーズの高さ・スピードのある演技 ◆演技に相応した質の高い柔軟性 ◆全体を通して印象の良い演技 ◆着地姿勢が高く安定している

◎決勝大会ABクラス

A・Bクラス共にEスコアが8.5以上の演技に対してハナマルを与える。

Bクラス跳馬のみEスコアの最終得点が9.3以上とする。

(2跳躍のうちどちらか1跳躍でも良い)

～29年度 男子器械種目寸度表～

□選手権1部(中学2年～高校3年) □選手権2部(中学1年～高校3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm～1m16cm	10cm
つり輪 鉄棒	2m80cm	20cm
跳馬	1m35cm	20cm
平行棒	1m90cm 2m00cm	12cm 20cm

□Aクラス(小学5年～中学3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm	10cm
つり輪	2m65cm	20cm
跳馬	1m25cm	20cm
平行棒	1m85cm 1m95cm	12cm 20cm
鉄棒	2m75cm	20cm

□Bクラス(小学1年～小学6年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
あん馬	1m15cm <small>※身長の低い選手に対し、飛びつき台を別途用意する。</small>	10cm
つり輪	2m65cm	20cm
跳馬	1m20cm	20cm
平行棒	1m75cm 1m87cm	12cm 20cm
	<small>*一般認定器具で高さ187cm(±2cm)、両棒間の幅調節ができるものがあれば良い。(設置の際は業者に確認)</small>	
鉄棒	2m65cm	20cm

【男子Bクラス(2016年～)】

※跳馬 高さ 1m10cm⇒1m20cmに変更
 平行棒 高さ 1m65cm⇒1m75cmに変更
 1m75cm⇒1m87cm(±2cm)に変更

【男子Aクラス・選手権2部】

※男子Aクラス、選手権2部における、つり輪の着地マットの使用は可能

～29年度 女子器械種目寸度表～

□選手権1部(小学6年～高校3年) □選手権2部(中学3年～高校3年)

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
跳馬	1m25cm	20cm
段違い	低棒 1m65cm	12cm
	高棒 2m45cm	
	バー間隔 最大 1m80cm	
	低棒 1m70cm	
平均台	高棒 2m50cm	20cm
	バー間隔 最大 1m80cm	
	1m20cm	
	1m25cm	12cm 20cm

(1)ゆかを除く3種目では最大10cm程度の着地マットを使用しなければならない。(本会場3枚、練習会場3枚)

□Bクラス(小学3年～小学6年)(一部規定演技を含む自由演技)

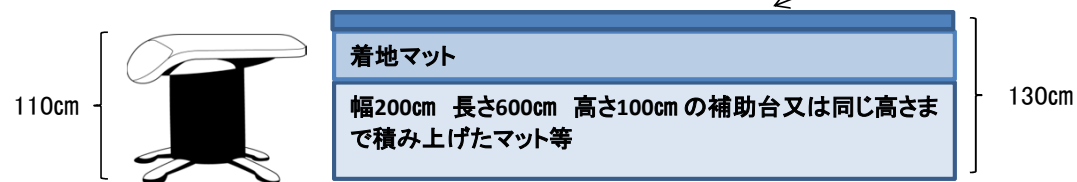
□Cクラス(小学1年～小学6年)※Cクラスは跳馬を使用しない。

器械種目	床面からの高さ	マットの高さ
Cクラス跳馬	メジャーは着地マットの一番先端を「0cm」とする	
段違い	低棒 1m65cm	12cm
	高棒 2m45cm	
	バー間隔 最大 1m80cm	
	低棒 1m70cm	
平均台	高棒 2m50cm	20cm
	バー間隔 最大 1m80cm	
	1m20cm	
	1m25cm	12cm 20cm

※Bクラス跳馬について

跳馬	床面からの高さ	着地マットについて
	1m10cm	着地面より1m30cm

←10cmのピタリマット



設置案1 : 幅200cm 長さ600cm 高さ100cmの補助台もしくはそれに準じた台を設置し、その上に通常の跳馬用着地マット(200×600×20)を設置しその上にピタリマット(200×600×10)を設置する。

設置案2 : 着地マット(200×600×20)を2×5枚敷き100cmの高さの着地スペースを設営、その上に通常の着地マット、ピタリマット(200×600×10)を設置する。

設置案3 : 幅200cm 長さ600cm 高さ100cmのポディウムに準ずる台(セノーもしくは会場設営業者※各開催地手配)を設置し、その上に通常の跳馬用着地マットを設置し、その上にピタリマット(200×600×10)を設置する。